

2019年度 学士入学試験 転部・転科試験 科目等履修生選考 問題2019

早稲田大学政治経済学部

政治学・経済学（国際政治経済学科）

次の問題1・2に答えよ。解答はそれぞれの問題の所定の解答用紙に記入せよ。

問題1. 次のA~Dの中から2つを選択して、一つの問いにつき20行前後で答えよ。

- A. リベラリズムとリバタリアニズムの違いについて説明しなさい。
- B. デモクラシーの集計的構想と熟議的構想の違いについて説明しなさい。
- C. ナショナリズムについて代表的な構想を挙げて説明しなさい。
- D. 権力概念について、「ゼロサム」的な構想と「ノンゼロサム」的な構想の違いについて説明しなさい。

問題2. 以下の連係する3つの文章に関する問(1)から問(7)に答えなさい。

ある財（その数量を x とする）の完全競争市場に120人の消費者と102社の企業がいる。各消費者は全員同じ個別需要曲線をもっておりその式は $p = -80x + 14$ で表される（ p は価格）。また各企業はすべて同じ限界費用曲線をもっておりその式は $MC = 68x + 2$ で表される（ MC は限界費用）。このとき、

(1) 市場需要曲線の式と市場供給曲線の式を逆需要関数、逆供給関数の形で求めなさい。ただし固定費用は0とする。

(2) この市場で成立する均衡価格と均衡取引量を求めなさい。

(3) この市場で生ずる社会的総余剰の大きさを求めなさい。

次にこの市場の供給側で102社が合同して1つの独占企業を形成したとする。ただしその供給曲線は上で得た市場供給曲線と同じとする。需要側には何の変化もないとして

(4) この供給独占市場で成立する価格と取引量を求めなさい。

(5) この供給独占市場で生ずる死重的損失の大きさを求めなさい。

最後にこの市場から独占企業が退き代わりに2つの企業（A, B）が支配権を得て同質複占が成立したとする。Aの費用関数は $C = 2x_A$ でありBのそれは $C = (10/3)x_B$ である。需要側には何の変化もないとして

(6) A, Bそれぞれの最適反応関数を求めなさい。

(7) このときのクールノー均衡（価格と各企業の取引量）を求めなさい。

